

森のおくりもの 3月



セリバオウレン (キンポウゲ科)



写真：齋 正宏 (レンジャー)

自然観察センターの周囲は2月の大雪で完全に根雪状態となっております。1月までの雪がない状況は何だったのでしょうか。これからマンサクやセリバオウレンを先頭にたくさんの花が咲き誇る時期となるはずですが、さてどうなることでしょうか。とはいえ、少々遅れるにしても、まもなく華やかな森が始まるはずです。ぜひ春を感じに自然観察の森へおいで下さい。

(館長 菊池正行)

碧いラインがおしゃれな 「ルリタテハ」



あたたかい春の日差しに誘われて、成虫で越冬しているチョウたちが日向ぼっこをしに、日当たりのよい場所へやってきます。その中でも、碧いラインが一際目をひくきれいな蝶「ルリタテハ」を紹介します。

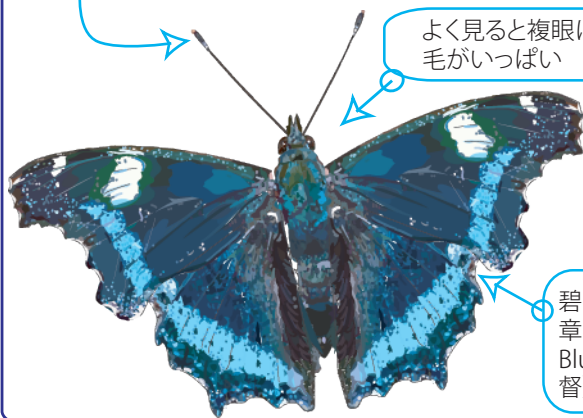
花より樹液が好き?

アンテナの先はオレンジ色をしている。

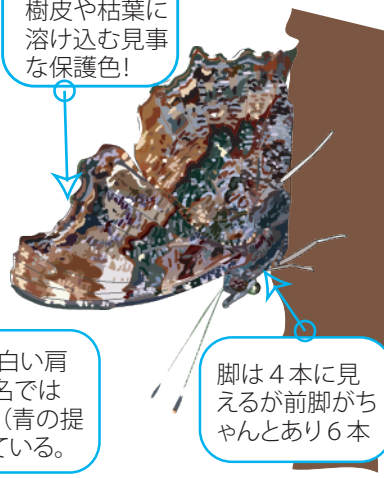
【ルリタテハ】
【開張約60～65mm】

翅を閉じると、樹皮や枯葉に溶け込む見事な保護色!

よく見ると複眼には毛がいっぱい



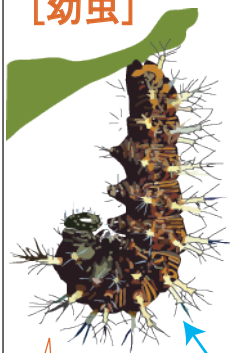
碧いラインに白い肩章の装い。英名ではBlue Admiral (青の提督)と呼ばれている。



脚は4本に見えるが前脚がちゃんとあり6本

●冬の寒さをじっと耐えて生き延びたルリタテハは、産卵→幼虫→蛹となり、夏～秋に羽化した成虫が越冬します。今季はどこで越冬していたのか・・・

【幼虫】



▲蛹になる前の幼虫は逆さにぶら下がりがりJの字になる

●早春、暖くなると、切株の上などで翅を広げ、日向ぼっこをしている姿を目にします。人の気配に敏感で、近づくとすぐ飛んでいってしまいますが、見れば見るほど美しい翅に心を奪われます。

●オスは、縄張りを張る性質があります。夕方になると葉の上や、岩石の上など見晴らしの良い場所で翅を広げてとまり、他の虫などが接近すると、激しく追い立て、また元いた場所に戻ります（占有行動）。

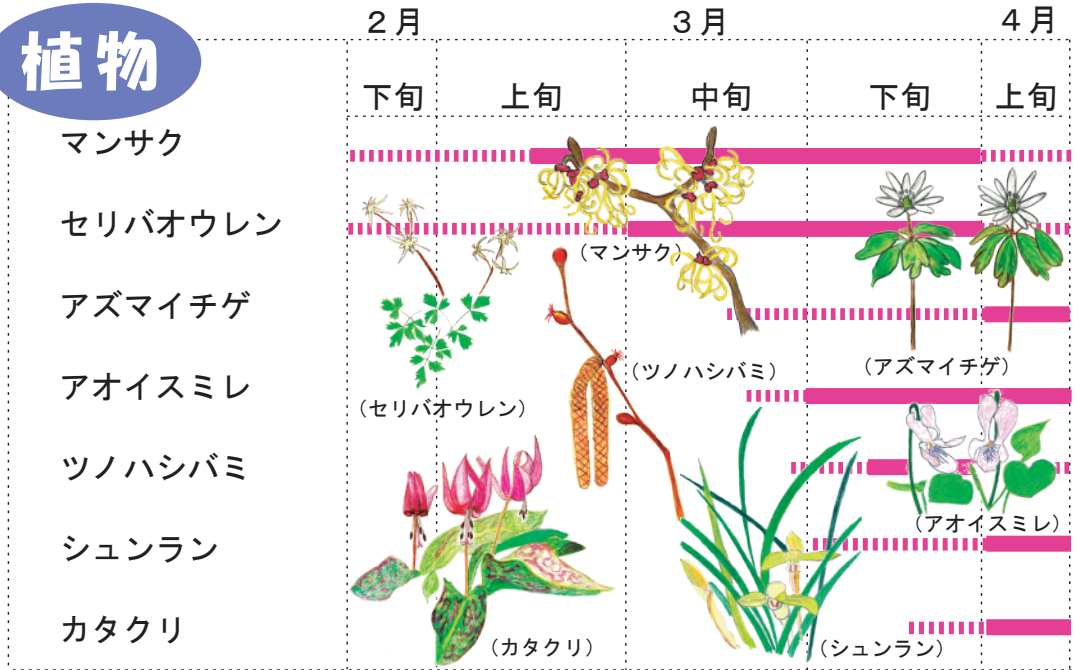
●成虫は花よりも、樹液や動物のフン、腐った柿などを好みます。人の汗も好きなので、手や服にとまったりすることもあります。幼虫はサトリハウや朴ギスなどの葉を食べます。

●幼虫はトゲトゲした突起を68本も持っていて、一見触ったら痛そうな気がしますが、実は無毒なので全然平気ですよ。

【レンジャー：黒川周子】

3月の生物ごよみ

植物



早咲きのセリバオウレンは2月4日に、であいの道で確認されましたが、その後の大雪のため、すっかりとうもれてしまいました。

マンサクは2月25日にヨシの湿地付近で黄色い花を咲かせていました。マンサクの花芽も今年は普段より少なく、ちょっと残念！今年は後半に雪が多かったため、他の植物の開花もいつもの年と比べ、10日ほど遅れるかもしれません。

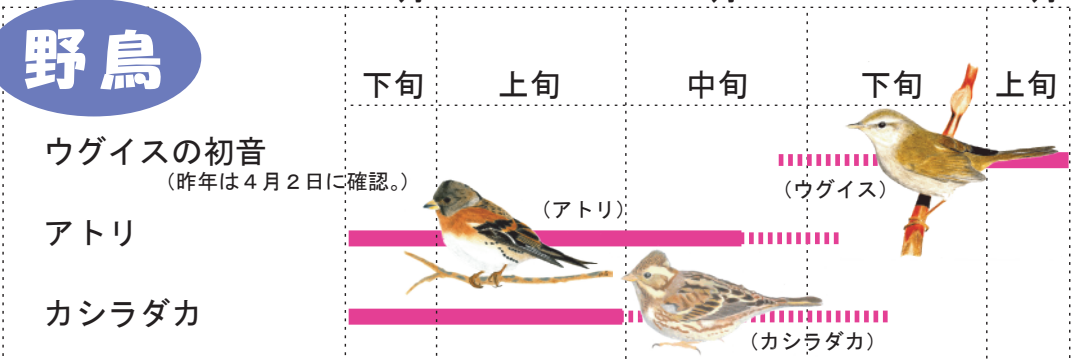


【ヨシの湿地付近で咲いていたマンサクの花】



【であいの道で見つけたセリバオウレンの花】

野鳥



【レンジャー：齋 正宏】

レンジャー花 木もれび BLOG



略してコモブロ 第22回『カモシカっておもしろい!』



最近、再びカモシカが姿を現すようになり、実際に出会える方も増えています。雪の上に出ているアオキ（ミズキ科）の葉を食べた跡は残されているのですが、実際に食べている場面にはまだ遭遇していません。

仙台で78年振りの積雪となった大雪のあと、カモシカたちは何を食べているのか？ そんな疑問を解決したくて深い雪をかき分けカモシカの足あとを追いかけてみました。

尾根を横切る足あとを追い、谷に降りていきます。急な斜面をズンズン下っていき一直線に谷底へ向かっています。雪がなければとても追いかけられるような斜面ではありません！（職員以外の侵入を禁止しているエリアなのですが）

谷底に降りた足あとは、今度は反対側の急斜面を直登していきます。雪に埋もれながら汗だくになり斜面を登り、

写真提供：井野川 登久夫さん やっとの思いで足あとを追っていくと…、そこにあったのは、カモシカのほかほかのウンチ。すぐそこにカモシカがいるのでは?! との期待をこめて追いかけてきましたが、カモシカの足あとは断崖絶壁の向こうに消え、残念ながら追いつくことはできませんでした。ですが、カモシカに対する興味と疑問がさらに湧く巡回となりました。



そんなカモシカの疑問に答えるような講話会が2月22日に開催されました。題して「カモシカと里山の自然について」。講師にアニマルコーディネーターでエフエム局のパーソナリティーも務める菊田秀逸さんをお迎えしました。

菊田さんは「日本カモシカセンター」に勤務していたころにカモシカを飼育された経験があるので、どんな葉を食べると腹をこわしやすいなど、実体験にともなうリアルな話を聞くことができました。

講演中の菊田秀逸さん

自然観察の森では、どの付近でカモシカの目撃が多いかなどの分析もされていて、利用者の方にはとても参考となる話だったと思います。

また、カモシカに出会ったときには、むやみに近づき過ぎないことは当然として、体長や病気にかかっているかなどのデータを取るよう心がけることが、そのデータが集約され、最終的にカモシカの保護につながっていくのだとの話が、私は一番印象に残りました。



【レンジャー：高橋千尋】

気が合わないバードテーブルの仲間たち

「森のおくりもの」の1月号でご紹介しました自然観察センターのバードテーブルの「尾がないスズメ」と「アカネズミ」ですが、後日、動画で確認したところ、このアカネズミもまた尾が根元付近で切断していて短かったようです。偶然とは言え、これが自然なのかとあらためて感じております。

さて、最近になって、バードテーブルでおもしろい光景が観察されております。それは野鳥のアカハラとシロハラです。いずれも同じ個体と思われる一羽ずつですが、バードテーブル付近で時々もみ合っております。人間でいえば取っ組み合い状態です。さらに、よく見ていると、そのアカハラがヒヨドリやキジバトにも追い回されていることがありました。食べ物は十分にあるわけなので、餌をめぐる争いではないようです。なぜかアカハラがほかの鳥から嫌われているようにも思われます。ちょっと気の毒な感じがしますが、これもまた自然のことなのでどうすることもできません。いずれにしても、これが自然観察のおもしろいところでもあるかもしれません。

なお、このバードテーブルは3月いっぱい終了する予定としておりますので、お早めにおいで下さい。

ところで、2月に2回の大雪が降りましたが、太白山自然観察の森では、あわやの大事故となるどころでした。自然観察センターの前のイタヤカエデの大木が雪の重みに耐えかね倒れてしまい、枝の



喧嘩するアカハラとシロハラ

直撃で雨どいが破損してしまいました。日中のことでしたので、来園者の方々がその時に通りかかっていたら危なかったかと思えます。強風よりは積雪による倒木の方が多いたとも言われており、降雪時やその直後の散策は十分に注意していただければと思います。なお、自然観察センターでも園内の危険木については、日々の巡回で点検し適宜処理はしておりますが、このような予想外の倒木もありますので、今後もなお一層の注意をはらいたいと思っております。



センター前に倒れたイタヤカエデの大木

【館長：菊地正行】

3月のイベント&お知らせ



『おはよう野鳥かんさつ』 3月15日(土) 6:30～8:00

早春の陽ざしのなか、雑木林を歩きながら野鳥を観察します。

- 【対象】 野鳥や自然に興味のある方
- 【持ち物】 観察用具など
- 【料金】 無料
- 【申込み】 不要(自然観察センター前集合)



『野鳥のレストラン』開店中! 3月30日(日)まで

自然観察センター研修室の窓から見える場所に、バードテーブル(餌台)を設置しています。館内の暖かい場所からじっくりとバードウォチングを楽しむことができますよ。



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

3月の開催日は
2日, 9日, 16日, 23日, 30日

開催時間 10:00a.m.～11:30a.m.

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

※12月～3月は午前中みの開催となります。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!!

イベント申込用



3月の休館日

3日, 10日, 17日
24日, 30日

♪森へおいでください♪



宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」バックナンバーが
ご覧になれます。

「**太白山 森のおくりもの**」で検索。

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2014年3月号(毎月1回5日発行)

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp